

共同研究の実施について

琵琶湖流域下水道フィールド提供型共同研究実施要綱に基づき、共同研究(自主提案型)について申請のあった下記3件を採択し県との共同研究を実施することになりましたのでお知らせします。

申請者	住友重機械エンバイロメント(株)
研究テーマ	反応槽用陸上型低動力インペラ式攪拌機の開発
研究目的	インペラ式攪拌機の導入により、インペラ式攪拌機の性能特性および長期運転特性を調査し、その省エネ効果、運転安定性、維持管理性について水中攪拌機と比較評価し、その有効性を検証する。
研究内容	湖南中部浄化センターの深槽タンク内において、下記の試験を行う。 長期安定運転性 省エネ性 攪拌均一性能 維持管理性 水処理性能
研究期間	平成21年2月24日～平成22年4月30日
採択理由	反応槽用陸上型低動力インペラ式攪拌機の琵琶湖流域下水道への適用性の評価を行うため。

申請者	京都大学 宗宮功 名誉教授、カワサキプラントシステムズ(株)、大阪ガスエンジニアリング(株)、ダイネン(株)
研究テーマ	CO2削減を目指すバイオ炭による下水道処理施設の効率化に関する共同研究
研究目的	バイオ炭による効率化に関する共同研究を行うことにより、下水処理場での電力消費量やCO2の削減を目指す。
研究内容	負荷低減効果を検証するため、実設備データを用いて下記のシミュレーションを行う。 バイオ炭を最初沈殿池に投入した場合のエアレーションタンク負荷低減に関するシミュレーション バイオ炭が混入している混合生汚泥の脱水性に関するシミュレーション バイオ炭が混入している脱水汚泥の圧送性に関するシミュレーション
研究期間	平成21年2月24日～平成22年3月31日
採択理由	琵琶湖流域下水道から発生する炭化汚泥の有効利用のための検討を行う。

申請者	有限会社NSマテリアル
研究テーマ	下水汚泥炭化物の多機能多重利用技術に関する共同研究
研究目的	汚泥炭化物を脱臭剤、汚泥凝集剤、水処理剤、脱水助剤等としての多機能利用可能性について検討するとともに、それらの多重利用により下水処理の経費削減を図ること。
研究内容	湖南中部浄化センターの炭化物を微粉碎化し、下記の実験を行い多機能利用可能性について検討する。またそれらの多重利用による下水処理の経費削減を評価する。 試験脱臭装置による脱臭剤としての最適化実証試験 凝集剤や生物担体等の水処理剤としての実験 既設脱水機における脱水助剤としての効果確認実証試験 微粉碎炭化物の添加効果による環境負荷およびコストの確認
研究期間	平成21年5月19日～平成22年3月31日
採択理由	琵琶湖流域下水道から発生する炭化汚泥の有効利用のための検討を行う。